

日本歯科衛生学会雑誌投稿規程改正のお知らせ

(必ずご確認ください)

日本歯科衛生学会が刊行する学会雑誌投稿規程の一部を17巻2号より大幅に追加および変更いたしました。これからご投稿いただく会員の皆様には、今号の雑誌投稿規程および投稿の手引きをよくお読みいただいた上で、ご投稿くださいますようお願いいたします。

大きく追加および変更した点は、利益相反（以下、COI）に関する事項の箇所です。研究倫理とCOIに関する事項は、研究を進める上で避けて通ることのできないステップです。

近年、より厳密な研究成果の公表が求められ、特に倫理的な妥当性、COI開示の遵守については著者の責任に、より重きが置かれるようになりました。本学会でも2022年12月に利益相反委員会が設置され、そして、「日本歯科衛生学会研究等の利益相反に関する指針」が策定されました。今号も掲載しております。多くの会員の皆様にとっては、なじみの薄い事柄であることもまた事実かと想像いたします。どうぞご一読くださいますようお願いいたします。

さて、このような状況のもと、医療界、学術界の進歩とともに、当学会雑誌の投稿規程も更新していくべきものと考えています。論文投稿を考えてくださっている会員の皆様にとっては、重要な事項となりますので、ぜひ、お目通しくださいますようお願いいたします。つきましては、以下の変更箇所の要点をご確認くださいようお願いいたします。

変更箇所の要点

1. 論文の分類（資料）について更新
2. 倫理規定に「医学論文における患者プライバシー保護ならびに研究倫理に関する指針」の遵守を追記
3. 動物実験に関する規定の追記
4. 雑誌投稿時に提出するCOI自己申告書に関する規定の追記
5. 原稿の書き方の一部更新

※利益相反（COI）とは

医学における利益相反（Conflict of Interest：COI）とは、科学的な客観性の確保や患者もしくは被験者の利益や安全を保護するという医療者や研究者および研究機関の責任に対して、不当な影響を与え、重大なリスクや研究成果の歪曲を生じうるような利害の対立状況を指します。具体的には、企業等営利団体からの研究資金の提供によって実施された医学研究の結果の解釈が、資金提供元にとって有利あるいは不利になる可能性がある場合に、公平・公正であるべき研究結果の判断に影響をもたらしかねないと第三者から見て懸念される状況を意味します。

日本歯科衛生学会 編集委員会